

平成26年度

第3回定期監査
結果報告書

(平成27年1月執行分)

御殿場市監査委員

26御監第306号
平成27年2月6日

御殿場市長 若林洋平様

御殿場市監査委員 鈴木 健
御殿場市監査委員 稲葉元也

定期監査の結果について(報告)

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、平成26年度第3回定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

平成26年度第3回定期監査結果報告書

第1 監査の対象

企画部 秘書広報課、企画課、行政課、演習場渉外課

産業部 農政課、農林整備課、地籍調査課、商工観光課

第2 監査の期間

平成26年12月26日から平成27年1月29日まで

第3 監査の範囲

平成26年4月1日から11月30日までの財務に関する事務事業の執行状況

第4 監査の方法

提出された監査書類による説明聴取及び関係諸帳簿の照合と施設の管理状況の実査

第5 監査の結果

監査の対象となった事務事業の予算執行及び会計事務処理は適正に執行されており、施設等の管理状況についても概ね適正であった。

法令、条例、規則等に違反している事項、又は経済性、有効性の観点から改善を要する事項など、特に指摘すべき事項は見受けられなかった。また指導事項はなかった。

所管毎の監査の概要は次のとおりである。

(注記)

- 1 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満は基本的には四捨五入した。したがって、合計額または差額が一致しない場合もある。
- 2 表中の金額の単位はその都度表示し、千円単位の場合は単位未満を四捨五入してある。したがって、小計・合計欄が一致しない場合もある。
- 3 文中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、構成比率の合計が100になるよう一部調整してある。
また、執行率は99.95%～99.99%の場合99.9%としてある。
- 4 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。
「0.0」… 該当数値はあるが、表示単位未満のもの
「—」… 該当数値がないもの、または数値を表示することが適当でないもの
算出不能なもの、または増減率等の無意味なもの
「△」… マイナスのもの
- 5 歳出予算執行状況は、人件費を除いた数値である。

企画部

1 監査の対象

秘書広報課、企画課、行政課、演習場渉外課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項はなかった。

秘書広報課

当課は、課長以下 9 人で、秘書スタッフ、情報発信室により組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・秘書事務（市長・副市長の秘書に関する事務）
- ・栄典・表彰事務（叙位・叙勲、静岡県知事表彰等申請事業、市表彰関係事業）
- ・広報活動事業（広報紙「広報ごてんば」発行业業、同報無線事業、市政カレンダー発行业業ほか）
- ・ホームページ事業（市ホームページ保守・管理委託ほか）
- ・情報発信事業（コミュニティFM活用事業、魅力発信事業）
- ・緊急雇用創出市民生活情報番組制作放送事業
（市民生活に係る、行政・生活・観光・地域情報を提供するための番組制作・放送業務）
- ・報道対応

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 収 入 未 済 額 | 収 入 率 | |
|---------|------------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|
| | | | | | 対 予 算 | 対 調 定 |
| 県 支 出 金 | 21,000,000 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | — |
| 諸 収 入 | 4,548,000 | 3,049,000 | 3,019,000 | 30,000 | 66.4 | 99.0 |

収入済額は、広報紙等広告掲載料 3,019 千円である。

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 残 額 | 支 出 率 |
|-----------|------------|------------|------------|-------|
| 一 般 管 理 費 | 6,247,000 | 2,746,720 | 3,500,280 | 44.0 |
| 広 報 広 聴 費 | 58,707,000 | 35,789,781 | 22,917,219 | 61.0 |
| 企 画 費 | 1,829,000 | 1,828,400 | 600 | 99.9 |

※人件費を除く

事業別の執行状況は、秘書事務経費（予算現額 3,484 千円、支出済額 1,787 千円、支出率 51.3％）、広報活動事業（予算現額 17,030 千円、支出済額 8,762 千円、支出率 51.5％）、情報発信事業（予算現額 17,350 千円、支出済額 15,126 千円、支出率 87.2％）、緊急雇用創出市民生活情報番組制作放送事業（予算現額 21,000 千円、支出済額 10,582 千円、支出率 50.4％）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、広報活動事業の需用費－印刷製本費 7,694 千円、緊急雇用創出市民生活情報番組制作放送事業の委託料 10,418 千円である。

(3) 前渡資金出納状況

前渡資金の出納状況については、例月現金出納検査（一般・特別会計）の帳票検査に合わせて関係帳簿等の確認を実施しており、適正に処理されていた。

前渡資金の出納状況は、次のとおりである。

（単位：円）

| 区 分 | 前 渡 資 金 額 | 精 算 額 | 返 納 額 | 未 精 算 額 |
|---------------|-----------|---------|-------|---------|
| 市 長 交 際 費 | 600,000 | 508,873 | 0 | 91,127 |
| 有料道路通行料（ETC） | 160,000 | 152,170 | 0 | 7,830 |
| 市長と語るミニ懇談会報償金 | 28,000 | 8,000 | 0 | 20,000 |

(4) 意見・要望事項

ア 情報発信について、従来の広報ごてんばの発行、同報無線や市ホームページ等に加え、新たにコミュニティ FM が開始されるなど、方法の多重化に努めていることは評価するところであるが、その効果・効率について十分に検証されるとともに、必要な情報を必要としている方に確実に届けることができるよう方策を検討されたい。

企画課

当課は、課長以下 6 人で、企画政策スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・市の将来構想や主要施策、重点事業計画を協議する庁議及び調整会議に係る事務
- ・第四次御殿場市総合計画策定事業
- ・地域公共交通対策事業
- ・第三次御殿場市国土利用計画策定事業
- ・国立駿河療養所将来構想検討事業
- ・御殿場総合サービス出資金増資事業
- ・市制 60 周年記念事業
- ・広域連携に関する事務（御殿場線利活用推進協議会、2市1町行政懇談会ほか）
- ・みんなの声を活かす意見公募手続（パブリックコメント）に係る事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

| 区 分 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|------|-----------|---------|---------|---------|------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 県支出金 | 608,000 | 659,294 | 98,294 | 561,000 | 16.2 | 14.9 |
| 財産収入 | 0 | 240,000 | 240,000 | 0 | — | 100.0 |
| 繰入金 | 7,000,000 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | — |
| 諸収入 | 0 | 150,000 | 150,000 | 0 | — | 100.0 |

収入済額の主なものは、株式配当金（御殿場総合サービス株式会社株式配当金）240 千円、その他雑入（イベント協賛金）150 千円である。

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

| 区 分 | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 支出率 |
|-------|------------|------------|------------|------|
| 企 画 費 | 36,680,000 | 12,748,159 | 23,931,841 | 34.8 |

※人件費を除く

事業別の執行状況は、地域公共交通対策事業(予算現額 11,057 千円、支出済額 57 千円、支出率 0.5%)、第四次御殿場市総合計画策定事業(予算現額 6,400 千円、未執行)、第三次御殿場市国土利用計画策定事業(予算現額:3,700 千円、未執行)、御殿場総合サービス出資金増資事業(予算現額 10,000 千円、支出済額 10,000 千円、支出率 100.0%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、地域公共交通対策事業の負担金補助及び交付金－補助金 11,000 千円、第四次御殿場市総合計画策定事業の委託料 6,400 千円、第三次御殿場市国土利用計画策定事業の委託料 3,700 千円である。

(3)意見・要望事項

- ア 第四次御殿場市総合計画策定事業については、今後の当市の方針を決定する最も重要な課題である。第三次総合計画の評価・検証を十分に行い、新たな計画の策定に努められたい。
- イ 地域公共交通対策事業については、単独維持困難路線に対する補助・補填に留まらず、将来的な地域の展望も含めて対策を検討されたい。
- ウ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるように引き続き指導されたい。

行政課

当課は、課長以下 11 人(うち臨時職員 1 人)で、行政管理・統計スタッフ、情報政策スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・組織機構改編及び定員管理事務
- ・行政改革推進事業
- ・行政評価(事業評価)
- ・各種統計調査に係る事務
- ・情報化機器の運用管理・最適化に関する事務
- ・番号制度(マイナンバー制度)導入に係る事務
- ・指定管理者選定審査会事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

| 区 分 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----------|------------|------------|-----------|------------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 分担金及び負担金 | 7,055,000 | 4,268,067 | 4,268,067 | 0 | 60.5 | 100.0 |
| 国庫支出金 | 14,399,000 | 10,714,000 | 0 | 10,714,000 | 0.0 | 0.0 |
| 県支出金 | 8,427,000 | 8,436,680 | 8,436,680 | 0 | 100.1 | 100.0 |
| 諸収入 | 501,000 | 0 | 1,200 | △1,200 | 0.2 | — |

収入済額の主なものは、広域行政組合会計負担金(内部事務統合システムに係る負担金) 4,268 千円、各種統計調査委託金(農林業センサス、経済センサス基礎調査及び商業統計調査、全国消費実態調査等に係る市町交付金ほか) 8,437 千円である。

イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

| 区 分 | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 支出率 |
|---------|-------------|-------------|------------|------|
| 企画費 | 922,000 | 20,210 | 901,790 | 2.2 |
| 情報政策費 | 197,901,000 | 100,734,378 | 97,166,622 | 50.9 |
| 統計調査総務費 | 940,000 | 920,320 | 19,680 | 97.9 |
| 基幹統計費 | 1,323,000 | 132,851 | 1,190,149 | 10.0 |

※人件費を除く

事業別の執行状況は、情報化機器維持管理費(予算現額 143,208 千円、支出済額 71,463 千円、支出率 49.9%)、情報化推進事業(予算現額 26,030 千円、支出済額 13,192 千円、支出率 50.7%)、情報システム最適化事業(予算現額 26,347 千円、支出済額 15,369 千円、支出率 58.3%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、情報化機器維持管理費の役務費－通信運搬費 6,221 千円、委託料 19,921 千円、使用料及び賃借料－その他 43,388 千円、情報化推進事業の使用料及び賃借料－その他 11,581 千円、情報システム最適化事業の使用料及び賃借料－その他 10,978 千円である。

(3)意見・要望事項

- ア 職員定員管理及び事務分掌管理にあたっては、各課の業務の状況、展望に加え、残業時間及びその内容にも配慮し、過度の不均衡が生じないように適切な人員管理・事業管理に努められたい。
- イ マイナンバー制度の導入にあたっては、初期の対応に困難も予想されるため、関係各課と手順等について十分に検討・検証して対応されたい。

演習場渉外課

当課は、課長以下 3 人で、渉外スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・演習場使用協定に関する事務
- ・演習場に関する総合対策連絡調整及び障害に関する事務（林野特産物補償研究会、水利関係ほか）
- ・東富士演習場地域協議会に関する事務及び会計
- ・東富士演習場土地契約問題協議会に関する事務及び会計
- ・会計実地検査に関する事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

| 区 分 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収 入 率 | |
|-------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 国庫支出金 | 2,000,000 | 1,999,000 | 1,999,000 | 0 | 99.9 | 100.0 |

収入済額は、防衛施設区域取得等事務地方公共団体委託費 1,999 千円である。

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

| 区 分 | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 支出率 |
|-------|-----------|-----------|-----------|------|
| 渉外事務費 | 3,062,000 | 1,290,485 | 1,771,515 | 42.1 |

※人件費を除く

事業別の執行状況は、渉外推進事務費（予算現額 2,145 千円、支出済額 684 千円、支出率 31.9%）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、渉外推進事務費の賃金 706 千円、需用費－消耗品費 298 千円、使用料及び賃借料－その他 265 千円、車両管理費の使用料及び賃借料－その他 176 千円である。

(3) 意見・要望事項

ア 本年 3 月 31 日が第十次東富士演習場使用協定の期間満了であり、第十一次使用協定に係る協議が行われるが、引き続き適切な渉外事務の実施に努められたい。

産業部

1 監査の対象

農政課、農林整備課、地籍調査課、商工観光課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項はなかった。

農政課

当課は、課長以下 14 人(うち臨時職員 5 人)で、農政スタッフ、農業振興スタッフにより組織されている。
(平成 26 年度の機構改革により、農林課が農政課と農林整備課に分離した。)

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・御殿場市農業委員会事業
- ・農業政策に関する事業 (グリーンツーリズム推進事業、地域農政推進事業(担い手組織育成事業、農業振興地域整備計画定期変更事業、青年就農給付金事業ほか)、たくみの郷指定管理施設運営事業ほか)
- ・農業振興に関する事業 (水田農業構造改革事業、ごてんばコシヒカリブランド化事業、農業振興対策事業、中山間地域等直接支払事業、経営所得安定化対策推進事業ほか)
- ・畜産振興に関する事業 (家畜防疫事業、畜産振興推進事業ほか)

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況 (款別)

(単位:円・%)

| 区 分 | 予算現額 | 調 定 額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収 入 率 | |
|-----------|------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 使用料及び手数料 | 3,000 | 900 | 1,200 | △ 300 | 40.0 | 133.3 |
| 国 庫 支 出 金 | 96,569,000 | 10,009,353 | 0 | 10,009,353 | 0.0 | 0.0 |
| 県 支 出 金 | 58,016,000 | 7,333,000 | 7,250,000 | 83,000 | 12.5 | 98.9 |
| 繰 入 金 | 77,129,000 | 16,556,000 | 16,556,000 | 0 | 21.5 | 100.0 |
| 諸 収 入 | 3,303,000 | 276,400 | 276,400 | 0 | 8.4 | 100.0 |

収入済額の主なものは、経営所得安定対策推進事業費補助金 6,500 千円、玉穂財産区特別会計繰入金(玉穂地区農業振興事業財産区繰入金ほか) 3,029 千円、印野財産区特別会計繰入金(たくみの郷指定管理施設運営事業財産区繰入金ほか) 5,610 千円、高根財産区特別会計繰入金(高根地区農業振興事業財産区繰入金ほか) 5,555 千円である。

イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 残 額 | 支 出 率 |
|-------------------|-------------|------------|-------------|-------|
| 農 業 委 員 会 費 | 3,168,000 | 1,210,335 | 1,957,665 | 38.2 |
| 農 業 総 務 費 | 20,838,000 | 11,421,858 | 9,416,142 | 54.8 |
| 農 業 振 興 費 | 34,158,000 | 24,813,943 | 9,344,057 | 72.6 |
| 畜 産 振 興 費 | 8,327,000 | 8,214,192 | 112,808 | 98.6 |
| 農 業 施 設 災 害 復 旧 費 | 195,566,000 | 0 | 195,566,000 | 0.0 |

※人件費を除く

事業別の執行状況は、地域農政推進事業(予算現額 8,673 千円、支出済額 3,304 千円、支出率 38.1%)、たくみの郷指定管理施設運営事業(予算現額 7,500 千円、支出済額 5,000 千円、支出率 66.7%)、農業振興対策事業(予算現額 15,365 千円、支出済額 13,228 千円、支出率 86.1%)、経営所得安定対策推進事業(予算現額 8,731 千円、支出済額 7,436 千円、支出率 85.2%)、旧食肉センター跡地整理事業(予算現額 5,886 千円、支出済額 5,886 千円、支出率 100.0%)、雪害被災農業者向け経営体育成支援事業(予算現額 195,566 千円、未執行)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、雪害被災農業者向け経営体育成支援事業の負担金補助及び交付金一補助金 195,566 千円である。

(3)意見・要望事項

- ア 近年の農業に係る諸課題に対し、抜本的な解決策が見い出せていないのが現状である。
関係機関と協調し、今後の地域農政のあり方、行政の果たすべき役割について検討されたい。
- イ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるように引き続き指導されたい。

農林整備課

当課は、課長以下 10 人(うち臨時職員 1 人)で、農林整備スタッフ、ほ場整備スタッフにより組織されている。
(平成 26 年度の機構改革により、農林課が農政課と農林整備課に分離した。)

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・農業振興に関する事業（鳥獣被害防止対策事業）
- ・農業用排水路等の整備及び土地改良施設の維持管理に関する事業（市単独農業施設等整備事業、土地改良区交付事業、農業農村整備事業ほか）
- ・東富士演習場関連公共用施設整備事業(防衛 9 条)
- ・ほ場整備事業に関する事務（県営ほ場整備事業:高根西部山之尻地区、高根西部塚原、御殿場深沢地区）
- ・林業振興及び林道整備に関する事業
- ・東富士演習場内緑地帯設置委託事業（国庫委託事業）
- ・東富士演習場内治山治水対策事業（国庫委託事業）
- ・森林公園指定管理施設運営事業
- ・農地、農業用施設、林道等災害復旧事業

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位:円・%）

| 区 分 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収 入 率 | |
|----------|-------------|------------|------------|------------|-------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 分担金及び負担金 | 400,000 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | — |
| 使用料及び手数料 | 30,000 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | — |
| 国庫支出金 | 143,795,000 | 40,650,000 | 14,191,000 | 26,459,000 | 9.9 | 34.9 |
| 県支出金 | 7,465,000 | 5,393,601 | 108,601 | 5,285,000 | 1.5 | 2.0 |
| 寄附金 | 6,600,000 | 36,000 | 36,000 | 0 | 0.5 | 100.0 |
| 繰入金 | 13,940,000 | 18,010,000 | 18,010,000 | 0 | 129.2 | 100.0 |
| 諸収入 | 3,865,000 | 27,000 | 27,000 | 0 | 0.7 | 100.0 |
| 市債 | 33,500,000 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | — |

収入済額の主なものは、東富士演習場内治山治水対策事業委託金(砂沢川地区洪水調整池法面整正業務) 14,191 千円、御殿場財産区特別会計繰入金(御殿場深沢土地改良区運営費補助金に係る繰入金ほか) 2,152 千円、高根財産区特別会計繰入金(高根地区農業基盤整備事業研究会補助金に係る繰入金ほか) 14,652 千円である。

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 残 額 | 支 出 率 |
|-----------------|-------------|------------|------------|-------|
| 農 業 振 興 費 | 7,400,000 | 0 | 7,400,000 | 0.0 |
| 農 地 費 | 102,088,000 | 6,010,686 | 96,077,314 | 5.9 |
| 東富士周辺用水整備事業費 | 14,835,000 | 3,570,326 | 11,264,674 | 24.1 |
| ほ 場 整 備 事 業 費 | 46,771,000 | 20,391,902 | 26,379,098 | 43.6 |
| 林 業 振 興 費 | 54,817,000 | 23,075,806 | 31,741,194 | 42.1 |
| 緑 地 帯 設 置 事 業 費 | 34,147,000 | 5,312,760 | 28,834,240 | 15.6 |
| 森 林 公 園 管 理 費 | 34,771,000 | 16,826,799 | 17,944,201 | 48.4 |
| 場内治山治水対策事業費 | 80,454,000 | 32,106,772 | 48,347,228 | 39.9 |
| 農業施設災害復旧費 | 842,000 | 160,200 | 681,800 | 19.0 |
| 林道等災害復旧費 | 42,000 | 0 | 42,000 | 0.0 |

※人件費を除く

事業別の執行状況は、市単独農業施設等整備事業（予算現額 50,263 千円、支出済額 4,639 千円、支出率 9.2％）、土地改良区交付事業（予算現額 38,730 千円、未執行）、農業農村整備事業（予算現額 10,820 千円、支出済額 11 千円、支出率 0.1％）、東富士演習場関連公共施設整備事業（防衛 9 条）（予算現額 14,835 千円、支出済額 3,570 千円、支出率 24.1％）、高根西部塚原地区県営ほ場整備事業（予算現額 23,560 千円、支出済額 3,300 千円、支出率 14.0％）、林業振興事業（予算現額 18,490 千円、支出済額 10,860 千円、支出率 58.7％）、林道整備事業（予算現額 35,925 千円、支出済額 11,879 千円、支出率 33.1％）、（緑地帯設置事業費）国庫委託事業（予算現額 34,147 千円、支出済額 5,313 千円、支出率 15.6％）、森林公園指定管理施設運営事業（予算現額 22,500 千円、支出済額 16,817 千円、支出率 74.7％）、（場内治山治水対策事業費）国庫委託事業（予算現額 75,048 千円、支出済額 28,461 千円、支出率 37.9％）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、市単独農業施設等整備事業の需用費－修繕料 33,642 千円、土地改良区交付事業の負担金補助及び交付金－交付金 38,730 千円、高根西部塚原地区県営ほ場整備事業の負担金補助及び交付金－補助金 15,010 千円、林道整備事業の工事請負費 19,054 千円、（緑地帯設置事業費）国庫委託事業の委託料 28,570 千円、（場内治山治水対策事業費）国庫委託事業の委託料 16,272 千円、工事請負費 29,074 千円である。

(3)意見・要望事項

ア 鳥獣被害防止対策事業については、防止柵の設置や捕獲等を実施しているものの、抜本的な解決策がないのが現状である。引き続き県、近隣市及び猟友会等と緊密に連携して対応されたい。

イ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるように引き続き指導されたい。

地籍調査課

当課は、課長以下 10 人(うち臨時職員 3 人)で、地籍調査スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

・地籍調査事業

正確な地籍、地図の整備を図るため、調査の実施及び成果の管理等を行う。

- ① (平成 25 年度継続事業) 印野の一部 32ha に関する閲覧、認証及び登記事務
- ② (平成 26 年度事業) 中山・二子の各一部 32ha の土地所有者立会による境界確認作業
- ③ 図根点(測量基準点)の保護事業
- ④ 地籍調査済地の成果閲覧、相談、成果修正事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況 (款別)

(単位:円・%)

| 区 分 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|----------|------------|------------|---------|------------|------|-------|
| | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 使用料及び手数料 | 303,000 | 119,800 | 133,500 | △ 13,700 | 44.1 | 111.4 |
| 県 支 出 金 | 14,970,000 | 14,970,000 | 0 | 14,970,000 | 0.0 | 0.0 |

収入済額は、地籍調査証明等手数料 134 千円である。

イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

| 区 分 | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 支出率 |
|---------------|------------|-----------|------------|------|
| 地 籍 調 査 事 業 費 | 26,667,000 | 5,702,410 | 20,964,590 | 21.4 |

※人件費を除く

事業別の執行状況は、地籍調査事業(予算現額 26,043 千円、支出済額 5,241 千円、支出率 20.1%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、地籍調査事業の委託料 17,017 千円である。

(3) 意見・要望事項

- ア 市民の財産に関わる業務であるため、引き続き的確な調査・測量等の実施に努められたい。
また予算縮減の折、困難もあるかとは思いますが、計画的に事業を実施されるよう要望する。

商工観光課

当課は、課長以下 17 人(うち相談員 1 人、臨時職員 4 人)で、商工労政スタッフ、富士山・観光室により組織されている。(平成 26 年度の機構改革により、観光スタッフが富士山・観光室に改められた。)

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・商工業振興に関する事業 (市営駅南駐車場指定管理事業、ふるさと納税こだわり推奨品事業、商店街活性化事業、商工団体等育成事業、産業立地促進奨励金事業、緊急雇用創出買い物弱者対策事業ほか)
- ・労政に関する事業 (勤労者住宅建設の支援(利子補給)、駿東勤労者福祉サービスセンター(ベネフィ駿東)の支援、駿東地域職業能力開発協会(職業訓練センター)の支援ほか)
- ・観光施策に関する事業 (観光懇話会の開催、観光戦略プランの推進、富士山五合目御殿場駅前連絡活性化事業、バラのまちづくり事業、スポーツツーリズム推進事業ほか)
- ・観光施設整備に関する事業 (富士山交流センター(樹空の森)指定管理施設運営事業、富士山駐車場及び乙女駐車場の維持管理、ハイキングコース等整備、地域の元気臨時交付金 公共サイン等整備事業ほか)
- ・PR事業 (観光広報事業ほか)
- ・イベント事業 (御殿場のまつり等支援事業、観光バックアップ事業、富士山世界遺産事業ほか)
- ・温泉事業 (観光施設事業特別会計:温泉会館及び源泉の維持管理ほか)

(2) 予算の執行状況 (一般会計)

一般会計の歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況 (款別)

(単位:円・%)

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 収 入 未 済 額 | 収 入 率 | |
|----------|-------------|------------|------------|-----------|-------|-------|
| | | | | | 対 予 算 | 対 調 定 |
| 使用料及び手数料 | 2,142,000 | 2,138,212 | 1,330,212 | 808,000 | 62.1 | 62.2 |
| 県 支 出 金 | 75,486,000 | 66,105 | 66,105 | 0 | 0.1 | 100.0 |
| 寄 附 金 | 7,800,000 | 7,859,079 | 7,859,079 | 0 | 100.8 | 100.0 |
| 繰 入 金 | 171,717,000 | 77,413,200 | 77,413,200 | 0 | 45.1 | 100.0 |
| 諸 収 入 | 416,924,000 | 5,132,480 | 5,132,480 | 0 | 1.2 | 100.0 |
| 市 債 | 3,000,000 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | — |

収入済額の主なものは、観光振興事業寄附金(スポーツツーリズム支援事業寄附金、御殿場のまつり支援事業寄附金ほか) 7,859 千円、原里財産区特別会計繰入金(バラのまちづくり事業に伴う財産区繰入金ほか) 2,320 千円、印野財産区特別会計繰入金(御殿場市富士山交流センター指定管理料ほか) 73,933 千円、市営駅南駐車場指定管理者納付金 5,000 千円である。

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 残 額 | 支 出 率 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| 労 働 諸 費 | 417,236,000 | 395,170,134 | 22,065,866 | 94.7 |
| 商 工 総 務 費 | 28,051,000 | 21,128,059 | 6,922,941 | 75.3 |
| 商 工 振 興 費 | 222,039,000 | 74,946,362 | 147,092,638 | 33.8 |
| 観 光 費 | 277,985,000 | 180,028,788 | 97,956,212 | 64.8 |
| 観光施設事業会計繰出金 | 6,796,000 | 6,223,000 | 573,000 | 91.6 |

※人件費を除く

事業別の執行状況は、勤労者福祉事業(予算現額 398,316 千円、支出済額 378,303 千円、支出率 95.0%)、職業訓練促進事業(予算現額 15,810 千円、支出済額 15,810 千円、支出率 100.0%)、商工振興事業(予算現額 29,324 千円、支出済額 22,973 千円、支出率 78.3%)、商店街活性化事業(予算現額 34,200 千円、支出済額 34,100 千円、支出率 99.7%)、産業立地促進奨励金事業(予算現額 139,316 千円、未執行)、観光振興事業(予算現額 28,256 千円、支出済額 28,115 千円、支出率 99.5%)、富士山交流センター指定管理施設運営事業(予算現額 94,000 千円、支出済額 70,674 千円、支出率 75.2%)、地域の元気臨時交付金 公共サイン等整備事業(予算現額 72,485 千円、支出済額 19,328 千円、支出率 26.7%)、観光協会等補助事業(予算現額 23,080 千円、支出済額 17,250 千円、支出率 74.7%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、勤労者福祉事業の貸付金 17,085 千円、産業立地促進奨励金事業の負担金補助及び交付金－補助金 139,316 千円、富士山交流センター指定管理施設運営事業の委託料 23,000 千円、地域の元気臨時交付金 公共サイン等整備事業の工事請負費 51,031 千円である。

(3) 予算の執行状況（観光施設事業特別会計）

観光施設事業特別会計の歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 収 入 未 済 額 | 収 入 率 | |
|----------|------------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|
| | | | | | 対 予 算 | 対 調 定 |
| 使用料及び手数料 | 2,736,000 | 1,867,320 | 1,741,920 | 125,400 | 63.7 | 93.3 |
| 財 産 収 入 | 1,030,000 | 121,670 | 0 | 121,670 | 0.0 | 0.0 |
| 繰 入 金 | 14,834,000 | 6,223,000 | 6,223,000 | 0 | 42.0 | 100.0 |
| 繰 越 金 | 800,000 | 1,372,566 | 1,372,566 | 0 | 171.6 | 100.0 |
| 諸 収 入 | 3,600,000 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | — |

収入済額は、温泉使用料 1,742 千円、一般会計繰入金 6,223 千円、前年度繰越金 1,373 千円である。

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 予 算 残 額 | 支 出 率 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 温 泉 会 館 管 理 費 | 9,188,000 | 4,741,558 | 4,446,442 | 51.6 |
| 温 泉 管 理 費 | 3,839,000 | 2,008,800 | 1,830,200 | 52.3 |
| 財 産 管 理 費 | 204,000 | 0 | 204,000 | 0.0 |
| 元 金 | 7,326,000 | 3,663,000 | 3,663,000 | 50.0 |
| 利 子 | 385,000 | 220,516 | 164,484 | 57.3 |
| 予 備 費 | 2,058,000 | 0 | 2,058,000 | 0.0 |

※人件費を除く

事業別の執行状況は、施設管理費（予算現額 8,854 千円、支出済額 4,733 千円、支出率 53.5%）、施設維持管理費（予算現額 3,472 千円、支出済額 2,009 千円、支出率 57.9%）、観光債元金（予算現額 7,326 千円、支出済額 3,663 千円、支出率 50.0%）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、施設管理費の需用費－修繕料 1,324 千円、使用料及び賃借料－土地借上料 2,780 千円、施設維持管理費の委託料 1,434 千円、観光債元金の償還金利子及び割引料 3,663 千円、予備費 2,058 千円である。

(4) 意見・要望事項

- ア 行事等の日程の都合上、休日出勤の多い業務ではあるが、職員に過度の負担とならないよう、引き続き業務管理の適正化に努められたい。
- イ 産業振興施策や各種イベント等への参加について、行政が主導的立場とならざるを得ず、結果として担当課の業務量を増大させている側面もある。困難もあるかとは思いますが、可能な部分については民間企業、民間団体、ボランティアの方々等が主導的に実施できるような方策を検討されたい。
- ウ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるように引き続き指導されたい。